

知的財産訴訟、仲裁、裁判 外紛争解決

弊所の世界中の拠点には260名以上の知的財産の訴訟者がおり、クロスボーダー紛争において一本化した戦略的アプローチで対応いたします。仲裁、WIPOの回復手続き、米国国際貿易委員会 (ITC)、地方裁判所、米国最高裁判所、欧州連合司法裁判所 (CJEU)、欧州人権裁判所の全てに関与した経験があります。上訴部門の強力な支援で、ホーガン・ロヴェルズが味方として助言いたします。

弊所は過去数年間、特許、トレードシークレット、商標、著作権、意匠の大規模な係争に関わってきました。常時裁判所に出向いており、最初の申立てから陪審裁判、上訴に至るまで攻撃防御いたします。チームは技術の専門家を多数擁し、事案の鍵となるテーマを展開するために、関連する科学、技術を深く掘り下げます。複雑な訴訟に対して戦略的かつ効率的に対応いたします。

弊所の強いワンチーム文化とアプローチは、クライアントのニーズに合った、タイムリーで能率の良い助言に重きを置きます。知的財産訴訟は裁判の進展が速いことから、いつでも国内国外を問わず、イノベーションの主要拠点にいる所員で直ぐに層の厚いチームを編成し、深く具体的な戦略を立てられるように準備をしております。知的財産手続きでは、独占禁止法、競争法、雇用問題が頻繁に関係することから、知的財産法に留まらず、フルサービスを提供できる世界最大クラスの国際法律事務所をご活用下さい。

代表的な案件

主な連絡先

フレデリック・チェン博士、
東京
今井 浩人、
東京

専門分野

虚偽広告

関連業務分野

トレードシークレット、秘密ノウハウ
著作権
特許
商標・ブランド

英国高級自動車メーカーに、東京地方裁判所に提起された企業法務上の訴訟案件に関して助言を提供。3年以上にわたる係争の末、第一審および控訴審において全部却下を勝取る（確定）

グローバルな一般消費者向け電子機器メーカーに対し、スマートフォン技術に関する特許権行使案件において助言を提供。東京地方裁判所における特許権侵害訴訟提起、これと同時進行する世界各国の訴訟との戦略的連携調整等を含む

日系ゲーム会社に対し、日本、東南アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ大陸等世界各国における、世界的に有名なゲーム商標に係る複数の異議申立および訴訟案件において助言を提供

日系建設会社に対し、造船下請契約に関する2隻の船舶の買主との紛争において助言を提供

米消費財メーカーに対し、国際ライセンス契約に係るシンガポールの販売チェーンとの紛争についてシンガポール仲裁センターで行われた仲裁手続きに関して助言を提供

日系商社に対し、中近東の地下鉄建設契約に関する元エージェントとの紛争において同社の代理人を担当

受賞歴

- Ranked Top Tier for Litigation and Transactions in Japan, *IAM Patent 1000*, 2021-2018
- Japan Foreign Firm of the Year, *Managing Intellectual Property Awards*, 2020-2018, 2016